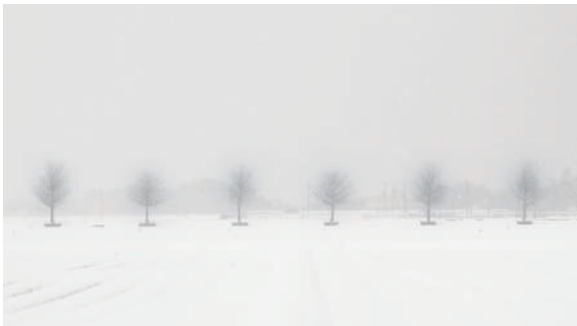




Takashi Mori Exhibition

[a s p e c t]



Filming

「アナログ」の躍動感をふと思い出しながら。

Takashi Mori Exhibition

[a s p e c t]

A R T L o b O M M



Central Station

美しいアーチ状の天井が印象的なストックホルム中央駅。
様々な人々の様々な人生が交錯する。

Takashi Mori Exhibition

[a s p e c t]

A R T L o b O M M



Under The City

地下鉄のホームにはふと見下ろすと至る所に抽象画が。

Takashi Mori Exhibition

[a s p e c t]

A R T L o b O M M



雪上の枯枝

★

縦 16:9 。日本的な何かを連想しながら。

Takashi Mori Exhibition

[a s p e c t]

A R T L o b O M M



One Stroke



人工河川のカーブと雪が描く「一筆」

Takashi Mori Exhibition

[a s p e c t]

A R T L o b O M M



Evanescence



見慣れた近くの景色も吹雪の中では全てが幻覚のよう。

Takashi Mori Exhibition

[a s p e c t]

A R T Lab OMM



In Driving Snow

★

誰もいない吹雪の中で出会った、お互いに孤独な彼と僕。
友達のようなふとした親近感。

Takashi Mori Exhibition

[a s p e c t]

A R T L o b O M M



Brilliant Tree

★

吹雪の中のほんの束の間の陽射し
あまりにも短すぎるその輝ける一瞬のために僕らは生きるのだろうか。

Takashi Mori Exhibition

[a s p e c t]

A R T L o b O M M



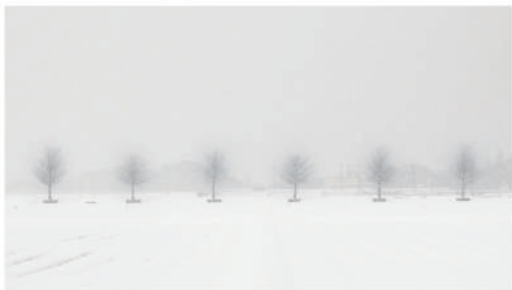
Last Snow

少し暖かくなり始めた冬の終わりの雪は、
まるで「さよなら」を告げに来たような降り方をする。
だから僕は去りゆくその姿を追いかけるように撮る。

Takashi Mori Exhibition

[a s p e c t]

A R T Lab OMM



Still



完全な静寂はほんの一瞬しかその姿を現さない

Takashi Mori Exhibition

[a s p e c t]

A R T L o b O M M



Texture #2

★

溶けかけの雪と樹木。
その質感を手で触れてみたくなるような自然のテクスチャー。

Takashi Mori Exhibition

[a s p e c t]

A R T L o b O M M



Abstract Expressionism

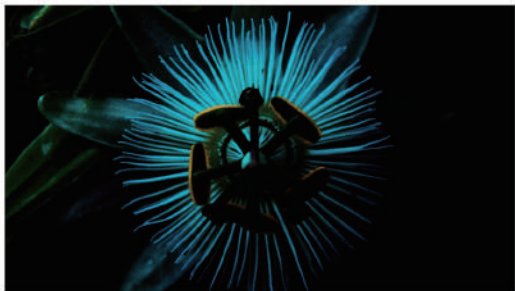
★

雪の中のびわ湖の浜辺。
抽象表現主義と呼ばれたかつての巨匠が描いた
「究極の風景画」を心に描きながら。

Takashi Mori Exhibition

[a s p e c t]

A R T Lab OMM



Passion Flower

★

蒼についての考察

Takashi Mori Exhibition

[a s p e c t]

A R T L o b O M M



Plastic House

オフシーズンのビニールハウス。
近代産業を想わせる無骨な骨組みが農業を支える。

Takashi Mori Exhibition

[a s p e c t]

A R T L o b O M M



Water Surface

湖と田の水面の重なり。

規則的な苗の並びと刈り取られた不揃いの樹木たち。対岸の小島。

この風景の時間の前後にどのようなストーリーがあるのだろう。

Takashi Mori Exhibition

[a s p e c t]

A R T L o b O M M



Texture #3

★

倒れるもの、倒れないもの、
それは上下関係ではなく、僕には互いに支えあっているように見えた。

Takashi Mori Exhibition

[a s p e c t]

A R T L o b O M M



After the Snow

湖面に映る雪で折れた「葦」（よし）が織り成す幾何学模様。

Takashi Mori Exhibition

[a s p e c t]

A R T L o b O M M



Wintry Sky

ピリッとした冬の寒空と澄んだ空気。
湖上に広がる冬の雲は複雑で美しい。

Takashi Mori Exhibition

[a s p e c t]

A R T L o b O M M



Texture #1

★

雪に倒れたススキに差す陽。これも一つの「春の予感」かな。

Takashi Mori Exhibition

[a s p e c t]

A R T L o b O M M



To My Future Self

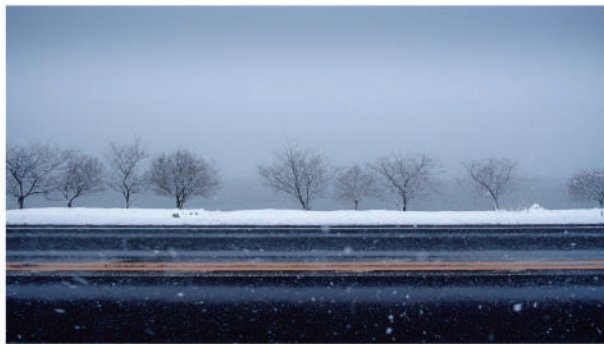
★

未来の自分に何かを伝えたいくなるような冬のある日の夕暮れ。

Takashi Mori Exhibition

[a s p e c t]

A R T L o b O M M



Lines

★

舞い落ちる雪の向こうには
蒼いアスファルト～中央線～積もる雪の白いライン～並ぶ樹木。
そして奥にはびわ湖面とその水平線。空のコントラスト。
いくつも重なる冬のレイヤー。

Takashi Mori Exhibition

[a s p e c t]

A R T L o b O M M



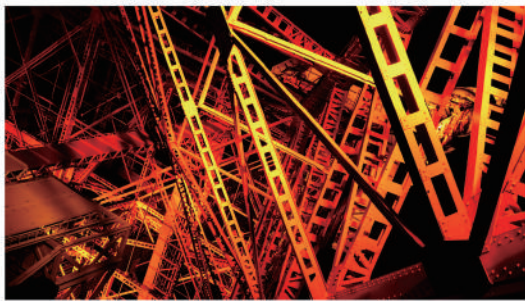
Between Up and Down

何かと何かのハザマに立たされたような。

Takashi Mori Exhibition

[a s p e c t]

A R T L o b O M M



Hand Calculation

コンピュータ以前のその時代。手計算の設計による。

Takashi Mori Exhibition

[a s p e c t]

A R T Lab OMM



Ghost

コペンハーゲン、チボリ公園の前ですれ違ったゴースト（幻影）

Takashi Mori Exhibition

[a s p e c t]

A R T L o b O M M



Bryggene

「ブリッゲン」

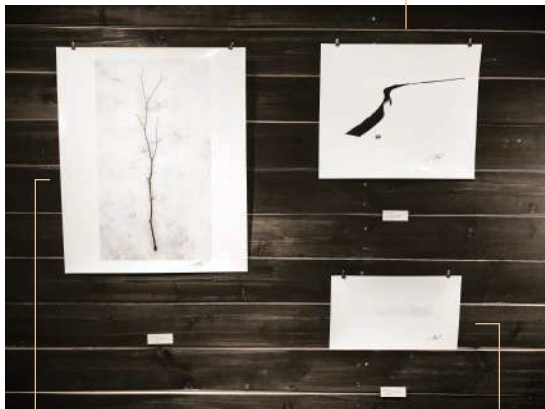
ノルウェー語で“埠頭”“ドック”。

中世から伝わる技法で修復されたニデルヴァ川沿いに建つ木造倉庫。

Takashi Mori Exhibition

[a s p e c t]

A R T L o b O M M



【Price】

■ silver halide photo / 銀塩プリント

145×120mm シート ¥6,000

290×240mm (四ツ切) シート ¥10,000

343×417mm (半切) シートシート ¥18,000

■ inkjet print / インクジェットプリント

841×594mm (A1) シート ¥10,000

※タイトルに★印のみ

【アルミ製フレーム仕様 四ツ切】 ¥2,500

額縁外寸法 : W295×H393×23mm / マット外寸法 : 290×388×2mm

マット中抜寸法 : W190×H277mm / マット仕様 : V カットマット紙・ワイドマット台紙

前面板 : ガラス板 / 吊りヒモ : あり / パッケージ : 紙箱





music for photo exhibition
[a s p e c t]

¥1,000 (TAXIN)

CD-R/ 封筒ジャケット

本展覧会のために森 崇が書き下ろした約40分のアンビエントミュージック。

静謐な雪の情景と自然の緩やかな流れ、そして遠くに聞こえる微かな都会の喧騒、リズム。

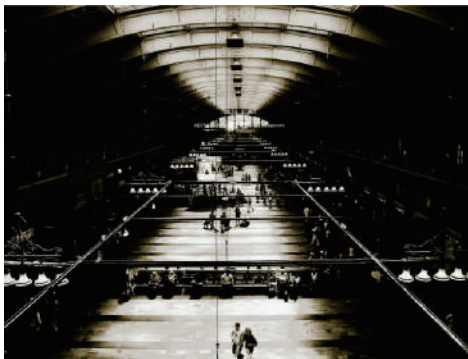
後半に少しドラマチックなクライマックスを迎えた後にやがて爽やかな明るい春の兆しが訪れる。

「聴く」というより「空気に溶ける」ような小さな音量でお楽しみください。
読書やデスクワークをしながら、穏やかな午後のちょっとした憩いの時間、就寝前のBGMなどに心地よく響きます。

Takashi Mori Exhibition

[a s p e c t]

A R T Lab OMM



#01

Takashi Mori

Takashi Mori Photobook 「#01」

¥2,300 (Tax in)

日本だけでなくノルウェー、スウェーデン、デンマーク、フランスで撮影された写真作品を収録。

Takashi Mori Exhibition

[a s p e c t]

A R T L o b O M M

森 崇 (Takashi Mori)

ドラマー / 音楽クリエイター / レコーディングエンジニア

10代よりドラムを始め、ライブ活動やレコーディングセッション、リズムトラックのプログラマーとして多くの作品に参加。1990年、音楽制作・レコーディングスタジオ「BOSCO MUSIC」設立。クラシックからジャズ、ロック、ポップス、現代邦楽、映画音楽など、様々なジャンルを扱うレコーディングエンジニア、トラックメーカーとしての活動とともにドラマーとしてもメジャーアーティストサポートや海外舞台公演の参加など活動の幅を広げる。

また、アンビエントミュージックを中心としたコンポーザーとして、パフォーマーや現代美術作家、パントマイマー、映像作家への作品提供、コラボレーションなど、音楽以外の多方面のアーティストとの共演も重視している。近年はカスタムしたハイブリッドなドラムセットとループサンプラーを使い、アンビエントやエレクトロとアコースティックを融合させた独自の的方法論によるソロドラムパフォーマンスを展開。

www.takashi-mori.com

Takashi Mori Exhibition

[a s p e c t]

A R T l a b O M M